【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年9月2日(2021.9.2)

【公表番号】特表2020-528900(P2020-528900A)
【公表日】令和2年10月1日(2020.10.1)
【年通号数】公開・登録公報2020-040
【出願番号】特願2020-503891(P2020-503891)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4965　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/27　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5585　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5578　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5575　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　3/06
Ａ６１Ｐ　3/04
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　1/16
Ａ６１Ｐ　9/00
Ａ６１Ｋ　31/4965
Ａ６１Ｋ　31/27
Ａ６１Ｋ　31/5585
Ａ６１Ｋ　31/5578
Ａ６１Ｋ　31/5575

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月21日(2021.7.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象の体脂肪を低減するための、ＰＧＩ$_2$受容体アゴニストを含む薬学的組成物。
【請求項２】
ＰＧＩ$_2$受容体アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、請求項１に記載の薬学的組成物。
【請求項３】

皮下または経皮注射を介して投与するための、請求項１または２に記載の薬学的組成物。
【請求項４】
皮膚パッチ、経皮パッチ、または皮下デポーを介して投与するための、請求項１または２に記載の薬学的組成物。
【請求項５】
局所投与するための、請求項１または２に記載の薬学的組成物。
【請求項６】
薬学的組成物が徐放性製剤である、請求項１から５までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項７】
即時放出型製剤である、請求項１から５までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項８】
臀部、下顎、脇の下、片目または両目の下、頬、額、ふくらはぎ、背中、大腿部、足首、および腹部からなる群から選択される対象の身体の部分に投与することを含む方法による投与のための、請求項１から７までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項９】
対象がセルライトを有する、請求項１から８までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項１０】
セルライトの内または近くの部分に投与するための、請求項９に記載の薬学的組成物。
【請求項１１】
対象が肺動脈高血圧と診断されていないかまたはされたことがない、請求項１から１０までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項１２】
対象がヒトである、請求項１から１０までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項１３】
対象を治療するための、PGI_2受容体アゴニストを含む薬学的組成物。
【請求項１４】
対象が肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患と診断されているかまたはその危険性がある、請求項１３に記載の薬学的組成物。
【請求項１５】
PGI_2受容体アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、請求項１２または１３に記載の薬学的組成物。
【請求項１６】
対象が他に肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患を治療するための投薬を必要としない、請求項１から１３までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項１７】
対象がヒトである、請求項１３から１６までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項１８】
含脂肪細胞をPGI_2受容体アゴニストに曝露することにより、含脂肪細胞において脂肪分解を活性化するための、PGI_2受容体アゴニストを含む薬学的組成物。
【請求項１９】
脂肪分解の活性化の結果、含脂肪細胞によるグリセロールの産生が５０％～３００％増大する、請求項１８に記載の薬学的組成物。
【請求項２０】
PGI_2受容体アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、請求項１８または１９に記載の薬学的組成物。

【請求項２１】
含脂肪細胞がヒト含脂肪細胞である、請求項１８から２０までのいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８３】
幾つかの典型的な態様および実施形態について上で論じて来たが、当業者には一定の修正、変更、追加およびサブコンビネーションが認識されよう。従って、以下に導入される添付の特許請求の範囲は全てのかかる修正、変更、追加およびサブコンビネーションがその真の精神および範囲内に入るものとして包含すると解釈されることが意図されている。
本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。
〔１〕ＰＧＩ$_2$受容体アゴニストを含む薬学的組成物をそれを必要とする対象に投与することを含む、それを必要とする対象において体脂肪を低減する方法。
〔２〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔１〕に記載の方法。
〔３〕投与が皮下または経皮注射を介する、前記〔１〕または〔２〕に記載の方法。
〔４〕投与が皮膚パッチ、経皮パッチ、または皮下デポーを介する、前記〔１〕または〔２〕に記載の方法。
〔５〕投与が局所である、前記〔１〕または〔２〕に記載の方法。
〔６〕薬学的組成物が徐放性製剤である、前記〔１〕から〔５〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔７〕薬学的組成物が即時放出型製剤である、前記〔１〕から〔５〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔８〕対象への投与が臀部、下顎、脇の下、片目または両目の下、頬、額、ふくらはぎ、背中、大腿部、足首、および腹部からなる群から選択される身体の部分にアゴニストを投与することを含む、前記〔１〕から〔７〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔９〕対象がセルライトを有する、前記〔１〕から〔８〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔１０〕投与がセルライトの内または近くの部分に行われる、前記〔９〕に記載の方法。
〔１１〕対象が肺動脈高血圧と診断されていないかまたはされたことがない、前記〔１〕から〔１０〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔１２〕対象がヒトである、前記〔１〕から〔１０〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔１３〕ＰＧＩ$_2$受容体アゴニストを含む薬学的組成物を投与することを含む、それを必要とする対象を治療する方法。
〔１４〕対象が肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患と診断されているかまたはその危険性がある、前記〔１３〕に記載の方法。
〔１５〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔１２〕または〔１３〕に記載の方法。
〔１６〕対象が他に肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患を治療するための投薬を必要としない、前記〔１〕から〔１３〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔１７〕対象がヒトである、前記〔１３〕から〔１６〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔１８〕含脂肪細胞をＰＧＩ$_2$受容体アゴニストに曝露することを含む、含脂肪細胞において脂肪分解を活性化する方法。
〔１９〕脂肪分解の活性化の結果、含脂肪細胞によるグリセロールの産生が５０％～３０

０％増大する、前記〔１８〕に記載の方法。
〔２０〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔１８〕または〔１９〕に記載の方法。
〔２１〕含脂肪細胞がヒト含脂肪細胞である、前記〔１８〕から〔２０〕までのいずれか１項に記載の方法。
〔２２〕必要とする対象において体脂肪を低減するための医薬の製造におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔２３〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔２２〕に記載の使用。
〔２４〕医薬が、それを必要とする対象において体脂肪の低減に使用されるとき、皮下または経皮注射により投与される、前記〔２２〕または〔２３〕に記載の使用。
〔２５〕医薬が、それを必要とする対象において体脂肪の低減に使用されるとき、皮膚パッチ、経皮パッチ、または皮下デポーにより投与される、前記〔２２〕または〔２３〕に記載の使用。
〔２６〕医薬が、体脂肪の低減に使用されるとき、局所に投与される、前記〔２２〕または〔２３〕に記載の使用。
〔２７〕医薬が徐放性製剤である薬学的組成物である、前記〔２２〕から〔２６〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔２８〕医薬が即時放出型製剤である薬学的組成物である、前記〔２２〕から〔２６〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔２９〕医薬が、それを必要とする対象において体脂肪の低減に使用されるとき、臀部、下顎、脇の下、片目または両目の下、頬、額、ふくらはぎ、背中、大腿部、足首、および腹部からなる群から選択される対象の身体の部分に投与される、前記〔２２〕から〔２８〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３０〕必要とする対象がセルライトを有する、前記〔２２〕から〔２９〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３１〕医薬が、それを必要とする対象において体脂肪の低減に使用されるとき、セルライト内または近くの部分に投与される、前記〔３０〕に記載の使用。
〔３２〕対象が肺動脈高血圧と診断されていないかまたはされたことがない、前記〔２２〕から〔３１〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３３〕対象がヒトである、前記〔２２〕から〔３２〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３４〕必要とする対象を治療するための医薬の製造におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔３５〕対象が肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患と診断されているかまたはその危険性がある、前記〔３４〕に記載の使用。
〔３６〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔３４〕または〔３５〕に記載の使用。
〔３７〕対象が他に肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患を治療するための投薬を必要としない、前記〔２２〕から〔３４〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３８〕対象がヒトである、前記〔３４〕から〔３７〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔３９〕含脂肪細胞において脂肪分解を活性化するための医薬の製造におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔４０〕脂肪分解の活性化の結果、含脂肪細胞によるグリセロールの産生が５０％～３００％増大する、前記〔３９〕に記載の使用。
〔４１〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カル

バサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔３９〕または〔４０〕に記載の使用。
〔４２〕含脂肪細胞がヒト含脂肪細胞である、前記〔３９〕から〔４１〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔４３〕必要とする対象において体脂肪を低減する方法におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔４４〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔４３〕に記載の使用。
〔４５〕方法がPGI_2受容体アゴニストを含む薬学的組成物をそれを必要とする対象に投与することを含む、前記〔４３〕に記載の使用。
〔４６〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔４５〕に記載の使用。
〔４７〕投与が皮下または経皮注射を介する、前記〔４５〕または〔４６〕に記載の使用。
〔４８〕投与が皮膚パッチ、経皮パッチ、または皮下デポーを介する、前記〔４５〕または〔４６〕に記載の使用。
〔４９〕投与が局所である、前記〔４５〕または〔４６〕に記載の使用。
〔５０〕薬学的組成物が徐放性製剤である、前記〔４５〕から〔４９〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５１〕薬学的組成物が即時放出型製剤である、前記〔４５〕から〔４９〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５２〕対象への投与が臀部、下顎、脇の下、片目または両目の下、頬、額、ふくらはぎ、背中、大腿部、足首、および腹部からなる群から選択される身体の部分にアゴニストを投与することを含む、前記〔４５〕から〔５１〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５３〕対象がセルライトを有する、前記〔４３〕から〔５２〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５４〕投与がセルライト内または近くの部分に行われる、前記〔５３〕に記載の使用。
〔５５〕対象が肺動脈高血圧と診断されていないかまたはされたことがない、前記〔４３〕から〔５４〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５６〕対象がヒトである、前記〔４３〕から〔５４〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔５７〕必要とする対象を治療する方法におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔５８〕対象が肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患と診断されているかまたはその危険性がある、前記〔５７〕に記載の使用。
〔５９〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔５７〕または〔５８〕に記載の使用。
〔６０〕対象が他に肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患を治療するための投薬を必要としない、前記〔４３〕から〔５７〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔６１〕対象がヒトである、前記〔５７〕から〔６０〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔６２〕含脂肪細胞において脂肪分解を活性化する方法におけるPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔６３〕脂肪分解の活性化の結果、含脂肪細胞によるグリセロールの産生が５０％～３００％増大する、前記〔６２〕に記載の使用。
〔６４〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔６２〕または〔６３〕に記載の使用。

〔６５〕含脂肪細胞がヒト含脂肪細胞である、前記〔６２〕から〔６４〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔６６〕必要とする対象において体脂肪を低減する方法に使用するための、ＰＧＩ$_2$受容体アゴニスト。
〔６７〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔６６〕に記載の使用。
〔６８〕方法がＰＧＩ２受容体アゴニストを含む薬学的組成物をそれを必要とする対象に投与することを含む、前記〔６６〕に記載の使用。
〔６９〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔６８〕に記載の使用。
〔７０〕投与が皮下または経皮注射を介する、前記〔６８〕または〔６９〕に記載の使用。
〔７１〕投与が皮膚パッチ、経皮パッチ、または皮下デポーを介する、前記〔６８〕または〔６９〕に記載の使用。
〔７２〕投与が局所である、前記〔６８〕または〔６９〕に記載の使用。
〔７３〕薬学的組成物が徐放性製剤である、前記〔６８〕から〔７２〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔７４〕薬学的組成物が即時放出型製剤である、前記〔６８〕から〔７２〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔７５〕対象への投与が臀部、下顎、脇の下、片目または両目の下、頬、額、ふくらはぎ、背中、大腿部、足首、および腹部からなる群から選択される身体の部分にアゴニストを投与することを含む、前記〔６８〕から〔７４〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔７６〕対象がセルライトを有する、前記〔６６〕から〔７５〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔７７〕投与がセルライト内または近くの部分に行われる、前記〔７６〕に記載の使用。
〔７８〕対象が肺動脈高血圧と診断されていないかまたはされたことがない、前記〔６６〕から〔７７〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔７９〕対象がヒトである、前記〔６６〕から〔７８〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔８０〕必要とする対象を治療する方法に使用するための、ＰＧＩ$_2$受容体アゴニスト。
〔８１〕対象が肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患と診断されているかまたはその危険性がある、前記〔８０〕に記載の使用。
〔８２〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔８０〕または〔８１〕に記載の使用。
〔８３〕対象が他に肥満、糖尿病、脂肪肝疾患、または循環器疾患を治療するための投薬を必要としない、前記〔６６〕から〔８０〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔８４〕対象がヒトである、前記〔８０〕から〔８３〕までのいずれか１項に記載の使用。
〔８５〕含脂肪細胞における脂肪分解を活性化する方法に使用するための、ＰＧＩ$_2$受容体アゴニスト。
〔８６〕脂肪分解の活性化の結果、含脂肪細胞によるグリセロールの産生が５０％～３００％増大する、前記〔８５〕に記載の使用。
〔８７〕アゴニストがセレキシパグ、ＦＫ－７８８、ベラプロスト、イロプロスト、カルバサイクリン、シカプロストおよびトレプロスチニル、またはその薬学的に許容できる塩からなる群から選択される、前記〔８５〕または〔８６〕に記載の使用。
〔８８〕含脂肪細胞がヒトの含脂肪細胞である、前記〔８５〕から〔８７〕までのいずれか１項に記載の使用。

〔８９〕実質的に本明細書に記載されている対象において脂肪を低減する方法。
〔９０〕対象がヒトである、前記〔８９〕に記載の方法。
〔９１〕実質的に本明細書に記載されている必要とする対象において脂肪を低減する方法。
〔９２〕対象がヒトである、前記〔９１〕に記載の方法。
〔９３〕実質的に本明細書に記載されているPGI_2受容体アゴニストの使用。
〔９４〕実質的に本明細書に記載されているPGI_2受容体アゴニスト。